SONY

3-248-480-**06**(2)

TV（1-12ch）/FM/AM ラジオ　ICF-T55V
TV（1-3ch）• FM/AM ラジオ　ICF-T45

取扱説明書 • 保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

* 3 2 4 8 4 8 0 0 6 * (2)

　　Printed in China

品　名　　ラジオ

型　名　　ICF-T45/T55V

保証書　　T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぐパワーオートオフ機能（約110～130分）。
- 雑音を低減して放送を聞きやすくする―ノイズカット機能搭載。
- 放送を受信すると同調インジケーターが点灯。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - ― 温度が非常に高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）。
  - ― 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - ― 風呂場など湿気の多いところ。
  - ― 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - ― ほこりの多いところ。
- ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- モノラルイヤーレシーバーをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、モノラルイヤーレシーバープラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口または、ソニーサービス窓口にご相談ください。
- 交通安全のため、自転車やバイク、自動車などを運転中はご使用にならないでください。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	TV：1～12チャンネル*1 FM： 76～108 MHz（TV1～3チャンネル*2） AM： 530～1,605 kHz
スピーカー	直径約2.8 cm、丸型7.2 Ω 1個
出力端子	（イヤーレシーバー）端子 （ミニジャックφ3.5 mm）1個
実用最大出力	80 mW（JEITA*3）
電源	DC 3 V、単4形乾電池2本
パワーオートオフ機能	約110～130分
最大外形寸法	約56 × 91.6 × 13 mm（突起部含む） （幅／高さ／奥行き）（JEITA*3） 約55 × 91 × 12.4 mm（突起部含まず） （幅／高さ／奥行き）
質量	約69 g（乾電池、イヤーレシーバー含む）

*1 ICF-T55Vのみ
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

*2 ICF-T45のみ

*3 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池（2）（お試し用*）
キャリングケース（1）
イヤーレシーバー（1）
イヤーパッド（1）
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

eco info
主なはんだ付けに無鉛はんだ使用。
主なプリント配線板でハロゲン系難燃剤を不使用。
イヤーレシーバーコードに塩ビ不使用。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル················0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話··0466-31-2511

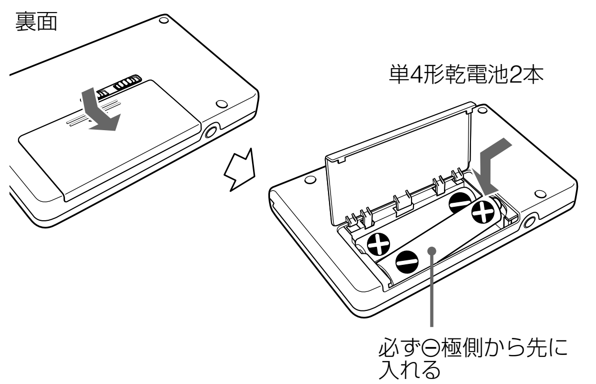
修理相談窓口
フリーダイヤル················0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話··0466-31-2531
※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土·日·祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

乾電池を入れる



1 **電池入れのふたを開ける。**

2 **ソニー単4形乾電池2本を、⊕と⊖の向きを正しく入れる。**

3 **電池入れのふたを閉める。**

乾電池の持続時間（JEITA*1）（単位：約　時間）

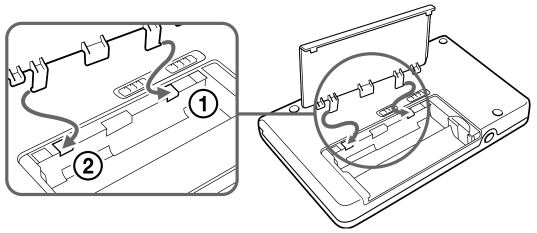
放送の種類		TV（4-12ch*2）	FM（TV1-3ch）	AM
ソニー単4形（LR03）アルカリ乾電池	イヤーレシーバー使用時	70	120	170
	スピーカー使用時	33	44	46
ソニー単4形（R03）マンガン乾電池	イヤーレシーバー使用時	36	67	90
	スピーカー使用時	16	21	23

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。
*2 ICF-T55Vのみ

乾電池の交換時期
乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

電源が突然切れてしまった！
パワーオートオフ機能が働いています。
電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています（パワーオートオフ機能）。
電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約110〜130分後です。
電源（パワーオートオフ）ボタンを押しても電源が入らない場合や、すぐに電源が切れる場合は、電池がカラになっているので新しい電池と交換してください。
電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう1度電源（パワーオートオフ）ボタンを押します。

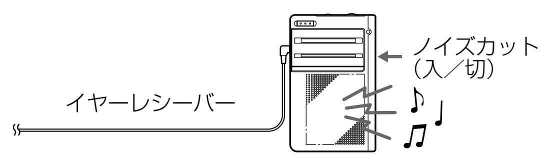
電池入れのふたがはずれたときは
電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。



受信状態をよくする

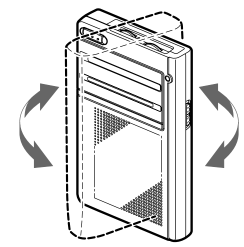
携帯電話の近くでラジオに雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。

TV／FM放送の場合
TV／FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。
スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。



- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、できるだけ窓際でお聞きください。

AM放送の場合
アンテナを内蔵しているので、ラジオ本体の向きを変えて、もっとも良く受信できる方向にしてお聞きください。

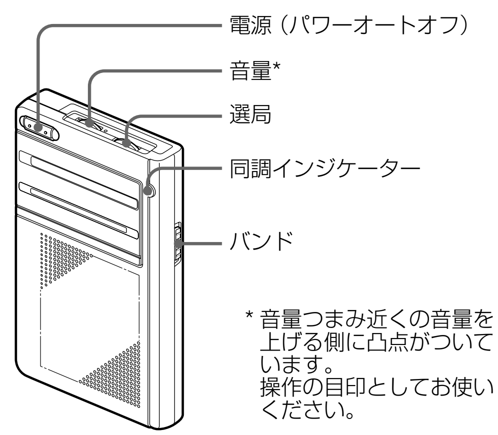


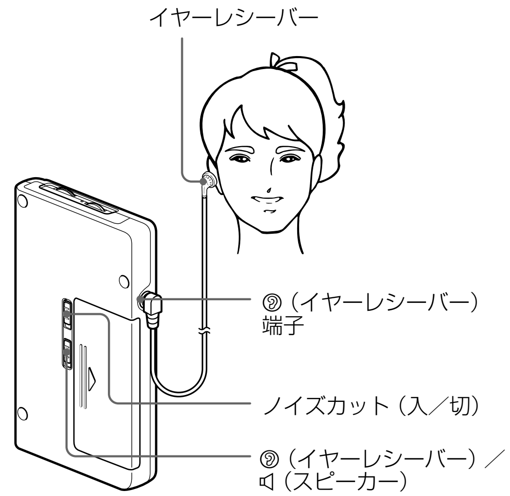
電波が弱く、雑音が気になるときは
ノイズカットスイッチを「入」に合わせてください。

> 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。





1 **電源（パワーオートオフ）ボタンを押して電源を入れる。**

2 **◎（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー）切り換えスイッチで◎または◁を選ぶ。**

3 **バンド切り換えスイッチでTV*1、FM（TV1〜3*2）、またはAM放送を選ぶ。**

*1 TV（4〜12ch）放送を聞く場合はTVに合わせます。（ICF-T55Vのみ）

*2 TV（1〜3ch）放送を聞く場合はFMに合わせます。

4 **選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。**

放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

5 **音量つまみで音量を調節する。**

ご注意
- ◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。
- TV/FM放送を聞くときは、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお聞きください。

電源を切るときは
電源（パワーオートオフ）ボタンを押します。

イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは
付属のイヤーパッドを使います。

